



圧入技術の情報発信基地 RED HILL 1967

圧入技術の優位性が「見てわかる」 情報発信基地「RED HILL 1967」オープン ～5月13日(土)見学会開催～

株主の皆さま、地域の皆さま、社員家族向けに見学会を開催しますので、ぜひお越しください。
なお、一般公開開始は5月16日(火)を予定しております。

■ご案内

日時： 5月13日(土) 9:00～16:30 (受付 8:30～)

上記時間内で、ご自由にご見学ください。

場所： RED HILL 1967 (高知県香南市赤岡町大東2246番地3)



RED HILL 1967
特設サイト

■5月16日(火)以降のご見学について

RED HILL 1967特設サイト(5月10日公開予定)より事前予約のうえ、
ご見学いただけます。

■アクセス



- ・高知IC/JCTから車で約35分
- ・高知龍馬空港から車で約15分
- ・最寄り駅:土佐くろしお鉄道
ごめん・なはり線「あかおか駅」から車で約5分

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、高知県香南市赤岡町に「圧入技術の優位性」の情報発信基地「RED HILL 1967」をオープンします。

「百聞は一見に如かず」をコンセプトに、圧入技術の粋を集めたGIKENの機械や工法、構造物の実物を展示しています。「圧入」とはどのような技術なのか、言語や文化の壁を越えて心から納得、理解していただける施設です。RED HILL 1967での体験が、世界中から訪れた方々にとって、建設のあるべき姿、建設の未来について考えるきっかけとなり、「工法革命」がグローバルに推進されることを期待しています。

当社は「公害対処企業」として創業以来、国民の視点に立った「建設の五大原則」を体現する圧入技術の優位性を核に、社会課題を解決する新しい製品や工法、構造物を次々に開発し、世界中にソリューションを提供し続けてきました。一方で、世界では今なお旧態依然とした工法や構造物が採用され、頻発する自然災害により人命・財産が危険にさらされ甚大な被害を受けています。また、工期・工費をいたずらに拡大させ、気候変動の主因である温室効果ガスの排出を増大させる事態が生じています。そのような建設業界の危機的状況の中、当社の提唱する最新科学に基づいた新しい技術を求める方々は世界中にいます。そうした方々にこそRED HILL 1967を訪れてもらい、圧入技術の優位性について心から納得、理解してもらうことで、ともに建設の未来を切り拓いていきたいと切に願っています。

つきましては、株主の皆さまにも、ぜひRED HILL 1967にお越しいただき、ご自身の目で見て、体感し、圧入技術の優位性を広く発信いただきたくご案内します。国内外でサステナビリティに対する関心が高まる中、当社の技術が世界中の社会課題の解決に寄与することを確信しています。

今後もグループ一丸となって「工法革命」「インプラント工法で世界の建設を変える」の実現に向け邁進してまいりますので、引き続き株主の皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社技研製作所

代表取締役会長

北村 精男

代表取締役社長

森部 慎之助